

序

平成２２年度は、公立高等学校の授業料無償化等が実施され、教員の資質向上のための制度改革、学級編制及び教職員定数の改善に関する検討が国において進められるなど、教育制度の在り方が大きく変わろうとする年でありました。

このような中、県教育委員会では、知事部局と連携しながら、「“ふくしまの和”で奏でる、こころ豊かなたくましい人づくり」を基本理念として、その実現に向けた教育施策を総合的・計画的に推進するための指針である、第６次福島県総合教育計画を平成２２年３月に策定しました。

本計画は、学校教育、生涯教育、文化・スポーツ、私立学校及び大学教育を包含するものであり、平成２２年度から平成２６年度までの５年間を計画期間とし、上記の基本理念に基づき、３つの基本目標を掲げるとともに、それぞれの目標について各施策を展開することにより、目標の達成を目指していくものであります。平成２２年度は計画の初年度にあたり、各施策を推進してまいりましたが、平成２３年３月１１日の東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響により、本県教育分野の復興に向けて新たな対応が必要となりました。

さて、本教育年報は、平成２２年度における教育に関する施策概要や事業実績等を収録しており、本県教育行政を一望することができる資料として、また、本県の過去の教育行政を現在まで伝える貴重な資料として、教育関係者のみならず、多方面の方々に広く御利用いただいています。

今後も本書が、教育施策や各種事業を推進する上での参考資料として広く活用され、本県教育振興の一助となりますことを願っています。

平成２４年２月

福島県教育委員会